



平成 23 年 1 月 26 日

各位

会社名 株式会社 東京自働機械製作所  
代表者 代表取締役社長 山本 治男  
(コード番号 6360 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務部長 谷口 輝雄  
(TEL 03 - 3866 - 7171)

### 平成 23 年 3 月期 業績予想の修正 並びに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した平成 23 年 3 月期通期の個別業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、業績予想の修正にともない役員報酬の減額を決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 個別業績予想の修正

##### (1) 平成 23 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,354	30	118	106	7.34
今回修正予想 (B)	5,000	△370	△300	△280	△19.39
増減額 (B - A)	1,354	△400	△418	△386	
増減率 (%)	△21.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	7,419	213	292	331	22.94

##### (2) 業績予想修正の理由

売上高につきましては、包装機械部門は前期に比べ受注高は増加しているものの当初の目標までは達せない見通しとなったこと、生産機械部門はほぼ計画通りの受注状況ながら一部機械の検収時期が来年度にずれ込む見通しであることから予想を下方修正いたしました。

また、利益面につきましては、これまで進めてまいりました体力強化策の一環であるコスト低減活

動の効果が表れ、売上原価は当初予想の原価率になる見込みであるものの、売上の大幅な減少により、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を修正いたしました。

なお、今後の見込みにつきましては、来年度にずれ込む売上のほか、包装機械部門、生産機械部門とも複数の新製品を市場投入できる見込みであること、大型プロジェクト受注の見通しが得られつつあること、古紙圧縮梱包機をはじめとした一部市場が回復基調にあることなどから受注残高、受注高ともに前年を上回るものと考えており、一層の受注拡大とコスト低減等の体力強化を図る所存です。

#### 【見通しに関する留意事項】

本資料における業績の見通しは、当社が発表日現在で入手可能な情報に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確定要因や潜在的リスク等によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

## 2. 役員報酬の減額

平成23年3月期通期業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、平成23年1月から当面の間、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

代表取締役 月額報酬の20%を減額  
常務取締役 月額報酬の20%を減額  
常勤取締役 月額報酬（役員報酬額）の20%を減額

また、監査役(常勤)より、監査役報酬の減額の申し入れがありましたので、常勤取締役の役員報酬減額に相当する額を常勤監査役の月額報酬（役員報酬額）から減額いたします。

以上